

第15回人間サイズのまちづくり賞 奨励賞表彰対象

部門	番号	件名(所在地)	表彰対象者	
			理由	
まちなみ建築部門	1	学校法人摺河学園 ハーベスト医療福祉専門学校 (姫路市南駅前町)	(事業主) 学校法人摺河学園 (設計者) 有限会社岩田章吾建築設計事務所 (施工者) 竹中工務店・福原組共同企業体	
		 	医療・福祉の専門学校として「多様性」を許容する精神を、原色を等価的に組み合わせたカラフルなデザインによって表現。駅前を活力ある雰囲気へと変え、他方で地域の健康相談を行うなど、医療・福祉の情報発信拠点としても活用されている。	
	2	神戸低侵襲がん医療センター (神戸中央区港島中町)	(事業主) 神戸がん医療推進合同会社 医療法人社団 神戸低侵襲がん医療センター (設計者) 大成建設株式会社一級建築士事務所 (施工者) 大成建設株式会社関西支店	
		 	アースカラーを基調とした外壁に、木調ルーバー等を設置することで神戸らしさを演出した親しみある外観に、内部もわかりやすいサインの設置や絨毯・木材を多く用いた暖かみある空間となっており、全体を通して人にやさしい病院となっている。	
	3	国際医療開発センター (神戸市中央区港島南町)	(事業主) 公益財団法人先端医療振興財団 (設計者) 株式会社日本設計 (施工者) 大成建設株式会社	
		 	円形シリンダー状で、ガラスのダブルスキン構造による白を基調とした透明感あるデザインは高いシンボル性を有しており、他方でスマート・エアフローや地中熱利用システムなど、数多くの環境配慮技術が導入された、環境に配慮された施設である。	
	4	竹中技術実務研修センター「想」 (川西市柳谷隠場)	(事業主) 株式会社竹中工務店 (設計者) 同上 (施工者) 同上	
		 	ものづくり精神伝承の場として、建設作業所に近い半屋外の体験型研修施設とし、人材育成の面からまちづくりを支えている。建築物としても自然採光や自然通風の確保、周囲の木々の緑を取り入れる仕組みなど細やかな工夫がなされている。	

部門	番号	表彰対象者（主な活動拠点）	代表者名
			理由
まちづくり活動部門	1	特定非営利活動法人メリーポピンズの会 （宝塚市）	理事長 <small>おおひなた</small> 大日向 <small>いくお</small> 郁夫
		 <small>せいれいさかせだい</small> 聖隷逆瀬台デイサービスセンター      タンポポ塾	発足以来 17 年にわたって保育所など、地域にとって欠かせない施設を緑化。聖隷逆瀬台デイサービスセンターでは、H23 に発生した台風で荒廃した庭園を再生し、その他園芸ボランティア養成講座「タンポポ塾」を運営するなど幅広い活動を展開。
	2	香良あじさいクラブ （丹波市）	会長 <small>あだち</small> 足立 <small>つよし</small> 健
		 あじさい公園      あじさいお花見会	丹波市氷上町香良地区において、一本一本手作業で 5000 株にも及ぶあじさいを植栽し、ゼロからあじさいの郷づくりに取り組み、地域の観光スポットとして昇華させた。その他あじさいお花見会や写真展の企画など、地域交流を促進する活動も実施。
	3	<small>うちまち</small> 内町を美しくしよう実行委員会 （洲本市）	代表 <small>よしおか</small> 吉岡 <small>くにおき</small> 國興
		 花の植え替え      清掃活動	洲本市の玄関口であり、多くの人を訪れる洲本バスセンター周辺にある 730 m <sup>2</sup> にも及ぶ公共空地进行を緑化し、周辺の景観に彩りをあたえている。ホスピタリティの精神から緑化活動以外の清掃活動にも積極的に、多方面から美しいまちづくりに貢献。
	4	特定非営利活動法人北神戸田園ボランティアネット （神戸市北区）	理事長 <small>さと</small> 佐藤 <small>ゆみこ</small> 由美子
		 現場を支える若いパパたち      3歳児が歩ける山道づくり	北神戸田園スポーツ公園を拠点に、地元農家と協力しながら、「里山の営み」を中心とした活動を幅広く展開。子供からお年寄りまで多くの人に関わる自然発生的な営みを通して、次世代に「思いやり」や「ありがとう」の心が育む場を提供している。

5	<p>あいの 相野駅周辺地区集落地区計画検討委員会 (三田市)</p>  <p>集落地区計画の検討 イベントの企画(黒豆収穫祭)</p>	<p>会長 さかがみ よしひさ 坂上 義久</p> <p>人と自然に育まれた「あいのさと」づくりをテーマに、JR 相野駅周辺地区での営農と住環境の調和のとれたまちづくりを目指し、13年もの歳月をかけ、住民との協働による集落地区計画策定を主導。その間地域交流間を図るイベントなども企画。</p>
6	<p>佐用ホルモンうどんくわせ隊 (佐用町)</p>  <p>1.17 メモリアルウォークでの活動</p>	<p>隊長 ありもと こうろう 有本 宏郎</p> <p>平均年齢 77 歳の高齢者で構成され、戦後から佐用町内で親しまれているご当地グルメ「佐用ホルモンうどん」の販売・提供を切り口とした、まちおこしや佐用町のPR活動を実施。県内外を問わず、幅広く活動を展開しており、地域間交流に大きく貢献。</p>